

陸奥湾湾口海域のイカナゴ稚仔分布調査結果について（2月）

（地独）青森県産業技術センター水産総合研究所

平成25年2月6～7日に陸奥湾湾口でイカナゴ稚仔分布調査を行ったのでその結果をお知らせします。10調査地点において試験船青鵬丸（65トン）でボンゴネット往復傾斜曳（水深0～50m）により行いました（図1右）。稚仔分布密度が例年高い4調査地点（③④⑧⑨）の今年2月の平均分布密度は0.004個体/m³で、前年と同じく最低レベルとなっています（図2）。次回は3月上旬に調査を予定しています（担当：資源管理部）。

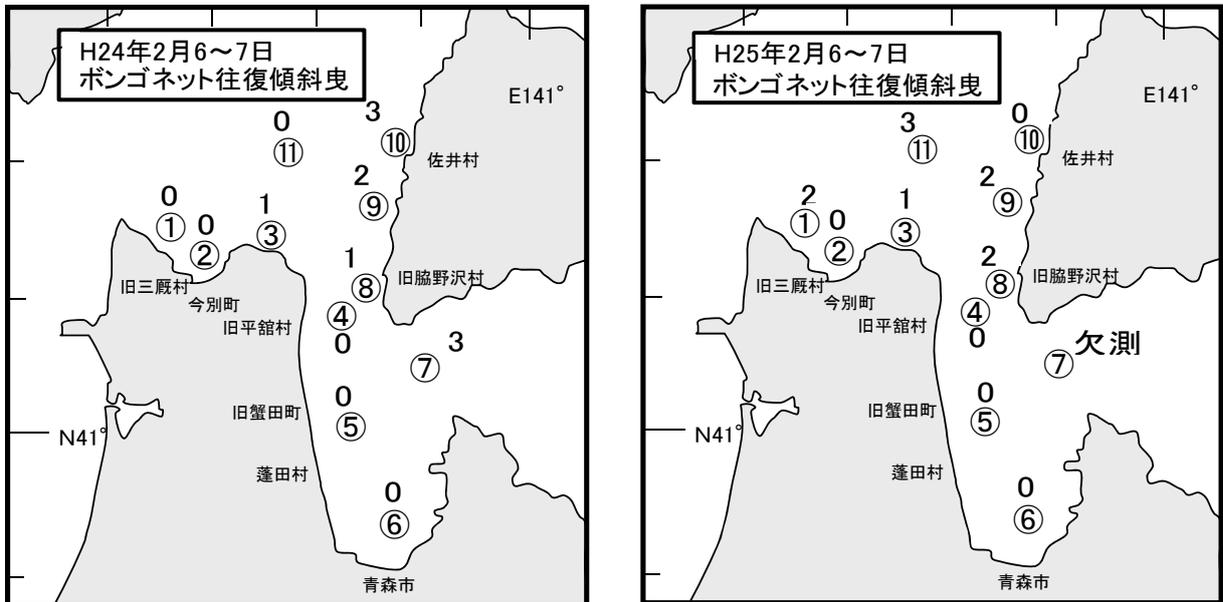


図1 ボンゴネット水深0～50m 往復傾斜曳によるイカナゴ稚仔の1網当りの採集個体数（①～⑪：調査地点 数字：採集個体数）

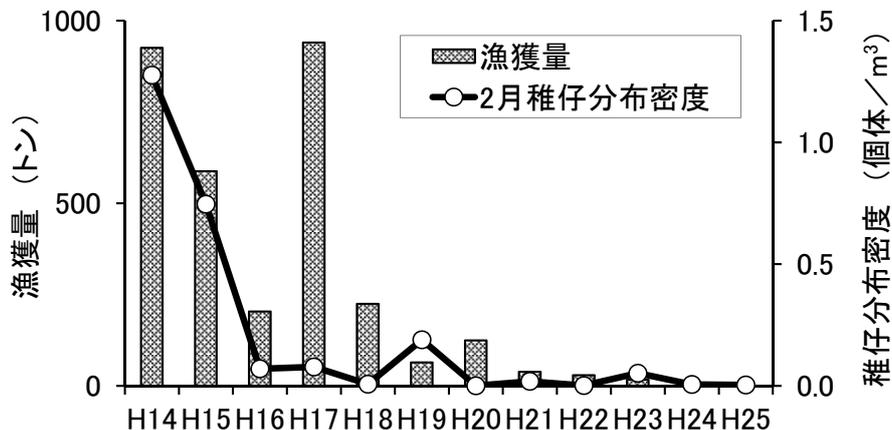


図2 イカナゴ稚仔分布密度（調査地点③④⑧⑨の平均値）と漁獲量（三厩～佐井村漁協）の経年変化